

★ 提案17の賛成意見 ★

提案17に賛成を

提案17はシンプルです。刑期を終えた人に投票権を回復するものです。

- 刑期を終えた時点で再びコミュニティに戻り、そこで役割を担うよう励まされるべきです。投票権の回復はまさにそれを意味します。市民参加は常習的な犯行の再犯率を下げることに関係している。自分がコミュニティにとって価値があると実感した場合には、刑務所に戻る確率が低くなります。

- 他の19州では、刑期を無事に終わると投票が認められます。California州でも、そうすべき時が来ました。

- Florida州の研究によると、刑期を終えて投票権を回復した人々は、将来的に犯罪を犯す可能性が低くなるということが明らかになっています。

- 刑期を終えた5万人近くのCaliforniaの人々は、地域、州、連邦の各レベルで税金を支払っています。しかし、彼らはどのレベルの政府についても投票することができません。

提案17が生活に与える影響—刑期を終えたCalifornia住民の語

更生保護委員会がRichardに自由を許可した後、彼は自分がまだCaliforniaで投票できないことを知ってショックを受けた。過去20年の間に、Richardは自分のことを「他者のために生きる男」と表現するようになった。刑務所にいる時から薬物やアルコールに関するカウンセリングプログラムの開発を支援し、より良い刑事司法ポリシーを提唱している。「懸命に働き、コミュニティに尽

くし、税金を支払い、還元しています。私はまだこの国の市民なのです」とRichardは述べる。「このことが、私に再び投票する権利を持つ資格を与えてくれると信じています。」

Andrewは国に仕えた海軍の退役軍人だが、飲酒の問題が悪化し、刑務所に入る原因となった大きな過ちを犯した。彼は更生に励んで仮釈放となり、現在は収監期間を終えている。コミュニティに貢献する方法を学んでいる退役軍人として新しい暮らしを構築しているところだ。「私は人生で何かを成すには懸命に働くことが大切だと信じています。また、投票権が得られたら、コミュニティの完全なメンバーになれるとも信じています。」

提案17に賛成を

仮釈放はコミュニティに再び参加するための期間として意図されたものです。収監を終えた仮釈放中の人々は家族を養い、職につき、税金を支払い、その他あらゆる方法で社会に貢献しています。投票する権利を回復することで汚名を払拭し、コミュニティとのつながりを強化する助けとなります。

Yeson17.vote #FreetheVote

CAROL MOON GOLDBERG、代表

League of Women Voters of California (California女性有権者同盟)

JAY JORDAN、事務局長

Californians for Safety and Justice

KEVIN MCCARTY、議員

提案17作成者

★ 提案17の賛成意見に対する反論 ★

提案17は「刑期を終えた時点で」重罪犯人の投票権を回復すると支持者は主張していますが、これは誤りです。

真実: Californiaでは仮釈放は法律的には刑期の一部です。そのため、重罪犯人が刑期を勤め上げ、選挙権を回復するためには、刑務所から出所した時点で仮釈放も終えている必要があります。提案17では、この重要な要件を除外することになります。

支持者は、30の州が、重罪犯人の投票権回復の前に刑務所での収監の満了以上のことを義務付けていると伝えていません。その大部分が仮釈放の完了を義務付け、一部は政府による追加措置を義務付けています。

支持者は、刑期を終え出所した「Richard」と「Andrew」の2名の物語を強調していますが、彼らの犯罪歴は公開されていません。強盗、武装強盗、殺人、児童性的虐待をどれも同じとしているようなものです。真実に勝るものではありません。

真実: 「Richard」や「Andrew」のような人もいれば、暴力的重罪を犯した「Robert」や「Scott」のような人

も仮釈放されています。提案17は、重罪犯人が重要な仮釈放期間を完了する前に投票権を回復します。

仮釈放は、暴力的な重罪犯が、市民社会に暮らす一般市民に対して自分が暴力的な脅威ではないことを証明するための適応期間です。彼らの一挙手一投足は訓練を受けた州の役人によって監視、監督されています。

結論: 提案17は、殺人、強姦、児童に対する性的虐待、その他の重罪、暴力的犯罪で有罪となった犯罪者に対して、仮釈放を含む刑期を終了する前に投票権を認めるものです。

提案17は公平ではありません。提案17に反対票を

HARRIET SALARNO、創設者

Crime Victims United of California

JIM NIELSEN、California州議会上院議員

RUTH WEISS、副代表

Election Integrity Project California

★ 提案17の反対意見 ★

提案17は、殺人、強姦、児童に対する性的虐待、誘拐、暴行、集団による銃犯罪、人身売買で有罪となった犯罪者が、仮釈放を含む刑期を完了する前に投票できるようにするものです。

1974年、Californiaの有権者は、重罪犯人がその刑期（仮釈放を含む）を全うした時点で投票権を回復することに賛成しました。より最近では、Californiaの刑務所改革法案で、ほとんどすべての重罪犯人を刑務所から地域の拘置所に移動させています。自動車窃盗や薬物売買などの非暴力的な罪で有罪となった人々は、郡の拘置所に収監され、刑期を務める間も投票する権利を有します。彼らには仮釈放はありません。

Californiaの仮釈放は重犯罪者と暴力犯罪者に対するものです。

収監中の犯罪者は、殺人、故殺、強盗、強姦、児童に対する性的虐待、その他の重罪、暴力犯罪、性犯罪で有罪となっています。その被害者となった罪のない法律を正しく守る市民は毎晩それらの犯罪を思い出し、その生涯にわたって不当に苦しめられています。特定の音やにおい、あらゆる経験が被害者を常に心理的、感情的に犯罪場面に引き戻すのです。彼らにとって刑期に終わりはありません。被害者が、犯罪者の更生が完全に終了する前に社会的に平等となることを知れば、彼らの一生続く痛みや苦悩はさらに増します。

仮釈放は投票権を含む完全な自由を回復する前に更生を証明するためのものです。

重罪者や暴力犯罪者の収監を終えて刑務所から出た犯罪者は、その刑期の一環として仮釈放（通常は三年間）を全うすることが義務付けられています。仮釈放は、暴力犯罪者が自由社会で適切な行動をとれるように適応する意思を証明する適応期間です。彼らの一挙手一投足は訓練を受けた州の役人によって監視、監督されています。

住む場所や移動する場所、一緒にいる仲間、仕事の選択について州が彼らを信用していないということは、社会のその他のメンバー全員の生命と財産に影響を与える判断についても、彼らを信用してはなりません。

大部分の仮釈放者がつまずき、50%が新たな犯罪を犯します。

残念ながら、約半数の仮釈放者が刑務所を出てから三年以内に新たな犯罪を犯します。明らかに、法律を守る市民社会に参加する準備は整っていません。人生において、報酬と権利は自分の手で獲得しなければなりません。仮釈放期間を含む刑期を無事に全うする前に、暴力犯罪者に対して投票権を与えることは、十学年を終える前に学生に高校卒業資格を与えるようなものです。これは全く無意味であり、彼らの将来と社会の全員を傷つけます。公平のために提案17への反対が必要です。

犯罪被害者は公平に値します。刑期の終了前に暴力犯罪者に投票権を与えることは公平ではありません。また、犯罪者も公平に裁かれる必要があります。彼らの自尊心は、犯した犯罪に対する償いを完全に終えたこと、そして二度目のチャンスを得られたことを理解することにかかっています。Californiaは公平なシステムに値する。犯罪者が自分の罪を償い、更生を証明した場合にのみ、市民社会への復帰が歓迎されます。提案17は公平ではありません。

提案17に反対票を

HARRIET SALARNO、創設者

Crime Victims United of California

JIM NIELSEN、代表

California Board of Prison Terms (Ret.)

RUTH WEISS、副代表

Election Integrity Project California

★ 提案17の反対意見に対する反論 ★

提案17に賛成を

提案17の反対者は、50年近く前の時代遅れの選挙ポリシーの改正をやめさせようと脅し作戦を使用しています。

事実:

- 提案17は単純に刑期を終えた時点で投票権を回復するもので、Californiaはすでに同様の措置をとっているその他の19州と足並みを揃えることになります。
- Florida州で同様の法律改正が行われた後の仮釈放委員会による研究で、収監を終えて投票権を回復した人々は、将来的に犯罪を犯す可能性が低くなることが明らかになりました。
- 仮釈放はコミュニティに再び参加するための期間として意図されたものです。収監を終えた仮釈放中の市民は家族を養い、職につき、税金を支払い、その他あらゆる方法で社会に貢献しています。
- 収監を終えた5万人近くのCaliforniaの人々は、地域、州、連邦の各レベルで税金を支払っていますが、まだどのレベルの政府にも投票できません。

本ページに印刷されている意見は著作者の意見であり、公的機関はその正確性を確認していません。

反対者と脅し戦略を信じてはなりません。民主党と共和党は提案17を支持している

• 州議会の3分の2以上の民主党員と共和党員が支持し、Californiaの有権者に提案17を検討するよう依頼しています。

• 提案17は、重犯罪と暴力犯罪で有罪となった人々の刑期を変更するものではありません。

提案17に賛成を！

CAROL MOON GOLDBERG、代表

League of Women Voters of California (California女性有権者同盟)

JAY JORDAN、事務局長

Californians for Safety and Justice

ABDI SOLTANI、事務局長

American Civil Liberties Union (ACLU)—Northern California